

第46回九州身体障害者福祉大会 ◆きたきゅうしゅう大会◆

千百人の当事者集う

平成27年1月15・16日の両日、第46回九州身体障害者福祉大会（きたきゅうしゅう大会）が、北九州市のリーガロイヤルホテル小倉で開催されました。九州各県等から約千百名の参加があり、鹿児島県からは佐藤会長以下16名が参加しました。初日は講演会と研究部会とが開催されました。

まず北九州市立大学の中島俊介教授による「技ありの人間関係」と題した講演会が行われました。教授がユーモアのある巧みな話術で心の健康を話される会場は笑いに包まれました。続いて二つの研究部会が行われました。第一研究部会では「組織強化のために必要な取り組み、その具体策について」、第二研究部会では「障害者権利条約の批准を受け、障害者差別の解消について考える」のテーマでそれぞれ討論が行われました。鹿児島県からは第二研究部会のパネラーとして当協会前田研究企画課長が「鹿児島県に差別禁止条例をつくる会事務局」として携わった経験を「障害者差別禁止条例制定までの道のりと今後の課題」鹿児島県での取り組み」と題して発表、当協会佐



藤会長も助言者として登壇しました。障害者差別は、障害ゆえに社会活動が制限されること、必要な配慮が何なのか知らないがゆえに配慮がされないことが問題であり、合理的配慮が社会にと

鹿児島づくり条例施行 障害の理解深め差別解消を目指す！

今年3月県議会で可決された「障害のある人もない人も共に生きる鹿児島づくり条例」（いわゆる差別禁止条例）が、平成26年10月1日から施行されています。

条例は障害を理由とする差別をなくし、障害に対する理解を深めることで、障害のある人がない人と同じように日常生活を過ごし、社会・経済・文化活動に参加できる社会づくりを進めることを目的としています。

全国では障害を理由とする差別が「あると思う」人が89%もいるとの内閣府の世論調査結果があります。差別は大きく2つ。障害を理由とする不利益な取扱いは、障害があるというだけで障害のない人と異なる取扱いをすること。合理的配慮の不提供は障害のある人にとって障壁となっているものを取り除くよう依頼され、重い負担でもないのに障壁の除去に必要な配慮をしないことをいいます。条例はこの差別の禁止を規定するとともに差別解消の施策として10月から必要な助言、情報提供を行う相談員を県庁・大隅地域振興局・大島支庁に配置し、相談を受けています。また障害を理由とする差別解消の推進に関し調査審議し、不利益な取扱いに該当する事案のあっせんの役割を担う「県障害者差別解消支援協議会」も設置されました。県では今後も普及啓発活動を続けるとしています。

条例に関する問い合わせは県庁障害福祉課（電話099-286-2749）まで。



第2研究部会には当協会会長と前田企画課長が登壇

また第一研究部会では、組織

強化・会員増加のためには、若い人が何を望み、何をしたいのかを知り、先代が築き上げたものを守りながら新しいものを作っていくことが大事だ、新しい情報を提供し、共に勉強するなど交流の場を広げることが若い会員を増やすことにつながるとの意見が出ました。

大会決議

二日目は、福祉大会（式典・議事）が盛大に行われました。表彰では鹿児島県から前吹上町身障協会会長、現日置市身障協会吹上支部長の梅木高夫氏が組織活動功労表彰を受賞しました。最後に大会宣言と大会決議が読み上げられ、会場の大きな拍手で採択が決まり二日間の大会は閉幕しました。

一、障害者権利条約及び差別解消法の趣旨の徹底周知を
一、災害時要援護者の避難支援計画が実行性を伴うよう、速やかに情報が共有できる環境整備を
一、障害者雇用促進法に基づく就労支援の充実と継続・安定した雇用政策を
一、地域との架け橋となる障害者相談員制度の充実を
一、だれもが暮らしやすいまちづくりを実現するため、公共交通、道路、施設におけるユニバーサルな環境整備を

佐賀で身障相談員ブロック研修 来年度は本県で開催

平成26年度第22回九州ブロック身体障害者相談員研修会が、昨年11月27日(木)・28日(金)の二日間にわたり佐賀市のグラウンデはがくで開催され、九州各県から四百名余の参加がありました。


一日目は、主催者の挨拶などに続き、厚生労働省の福祉用具専門官加藤晴喜氏の「新障害者プランと身体障害者支援を中心とした障害者保健福祉施策の動向について」と題する講演がありました。

その後、「障害者差別の解消と相談員活動」をテーマに沖縄県北九州市、佐賀県の代表相談員から事例発表がありました。実体験に基づく発表ですので、どの方の話も説得力がありました。「障害者に対する理解が足りない。啓発活動が足りないのではないか」という発表に対し、佐賀県の担当係長から「健常者に対する出前授業で啓発してい

る」との助言等があった他、「同じ障害を持つ相談員こそが最も本人の相談に乗ってあげられる。その強みを活かして今後も頑張つてほしい」との激励もありました。

二日目は、佐賀大学 文化教育学部の吉岡剛彦教授による「障害をもつ人に対する差別解消と自立支援を考える」と題した講演がありました。

**本件選手団
過去最高のメダル数
全国障害者スポーツ大会
長崎 大会**



佐藤団長(当協会会長)を先頭に本県選手団が入場

第14回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会」が11月1～3日の三日間、長崎市、諫早市などで開催されました。本県からは、個人競技45名の選手が参加。金メダル17個、銀メダル17個、銅メダル18個、合計52個と個数では過去最高のメダルを獲得しました。また、陸上競技と水泳で、大会新記録3つ、大会タイ記録1つ、大会記録(これまでに出場者がいなかった競技やルール改正があった競技での記録)2つと、好記録も飛び出し、充実の結果となりました。次の開催地は和歌山県です。

**県障害者自立交流センター
あったかフェスタ
2014開催**



12月7日、障害者自立交流センター主催の「あったかフェスタ2014」がハートピアかごしまで開催されました。今年で6回目のフェスタは、



恒例となった展示即売ブースには魅力的な製品・作品が並んだ

障害のある方に対するとき、独りよがりの思い込みで先回りしてよけいなことをしてしまつたり、逆に切実なニーズを見逃ごしてしまつたりする。「どこまで手を貸すか?」。それを知らずには、できるだけ障害のある方の(いわば全身から出る)声をゆつくり聞くこと、待つことが必要であるということ。「犬食い」や「マスターパーション介助」の事例などを通して考えさせる内容でした。

この後、佐賀県身体障害者団体連合会会長の総括などがあった。佐藤会長が次期開催団体として挨拶を行い閉会しました。

毎年12月「障害者週間」にちなんで実施しているものです。体育館には「ふれあいステージ」の舞台や「展示即売」のブースが設けられ、大勢の人が楽器演奏、パトーンとダンス、フラダンス等を楽しみながら、手作り品や野菜を扱うなどしていました。また盲学校による「あんまマッサージ」、健康増進センターの「骨密度測定」には毎年のことながら行列ができました。お昼時には障害者スポーツの紹介もありました。

最後に、ぐりぶー、さくらをはじめとする「かごしま ゆるキャラ」6人(?)も参加して恒例のお楽しみ抽選会も行われ、寒い日でしたが、心は暖かな一日となりました。

平成26年度 社会福祉法人 鹿児島県身体障害者福祉協会 賛助会員

平成26年度の賛助会員・準会員として多数の団体の方々に加入していただきました。
ここに感謝とお礼の意を込めて、ご芳名をご紹介します。ありがとうございました。
社会福祉法人 鹿児島県身体障害者福祉協会 会長 佐藤 彰 矩

(順不同 敬称略)

平成27年2月1日現在

団 体 名	団 体 名
泉原リウマチ内科クリニック	株式会社 ミナヨシ
医療法人愛育会 愛育病院	有限会社 中央医科器械
医療法人愛徳会 上村内科クリニック	有限会社 平成メディカル
医療法人猪鹿倉会 パールランド病院	鹿児島県行政書士会
医療法人回生会 生駒外科医院	鹿児島県民共済生活協同組合
医療法人慈圭会 八反丸病院	鹿児島県PTA連合会
医療法人至誠会 中村温泉病院	株式会社 指宿白水館
医療法人潤愛会 鮫島病院	株式会社 鹿児島銀行
医療法人神護庵 じんごあん整形外科内科クリニック	株式会社 スズキ自販鹿児島
医療法人人天会 鹿児島こども病院	株式会社 ニシムタ
医療法人静和会 ファミリーHP 薩摩	株式会社 プリンティング三州
医療法人鶴丸会 鶴丸歯科医院	株式会社 細山田商事
医療法人隆成会 隆成会病院	株式会社 山形屋
協愛病院	九州労働金庫鹿児島県本部
財団法人慈愛会 今村病院	楠元商会
財団法人昭和会 今給黎総合病院	合資会社 甲斐商店
財団法人東風会 三船病院	三幸商事株式会社
社会医療法人緑泉会 整形外科米盛病院	社団法人 鹿児島県看護協会
西内科循環器科	中原保険事務所
株式会社 カクイクスウイング	日本ガス株式会社
株式会社 北義肢製作所	有限会社 アート印刷
株式会社 中礼義肢製作所	有限会社 ハヤカワ

計44団体

平成26年度 社会福祉法人 鹿児島県身体障害者福祉協会 準会員名簿

(順不同 敬称略)

平成27年2月1日現在

団 体 名	団 体 名
社会福祉法人 常盤会	社会福祉法人 ひまわり会

行 事 予 定

パソコンでお困りのことないですか？
～プロがマンツーマンで指導します。～

実施日：第1・3金曜日 ただし4月以降は第1・3木曜日の午後
時 間：一人概ね1時間
場 所：ハートピアかごしま 3階
相談内容：パソコン（ワード、エクセル、メール）の操作、インターネット、デジカメ画像の加工など
相談できる人：障害者手帳等をお持ちの方で、中学生を除く15歳以上の方
相談料：無料（予約制です）

※視聴覚障害者のご相談には、協会職員が対応する場合があります。
※重度障害等で外出困難な方には、自宅での相談に応じることもできます。（離島地域は除く）

【問い合わせ先】～お気軽にお電話ください。
〒890-0032
鹿児島市小野1丁目1-1
ハートピアかごしま3階
鹿児島県身体障害者福祉協会 総務課
電話 099-228-6271

- 平成27年度
- 5月10日(日) 第9回県障害者スポーツ大会 (県立鴨池補助競技場ほか)
- 5月25日(月)・26日(火) 第60回日本身体障害者福祉大会 みやざき大会 (宮崎市シーガイア)
- 5月29日(金) 県身体障害者協議会・評議員会 (ハートピアかごしま)
- 7月15日(水) 県身体障害者グラウンド・ゴルフ大会 (霧島市)
- 8月5日(水) 県身体障害者ゲートボール大会 (霧島市)
- 11月24日(土) 第15回全国障害者スポーツ大会 (霧島市)
- 11月27日(金) 第15回全国障害者芸術・文化祭かごしま大会 (県民交流センター)
- 11月27日(金) 平成27年度県障害者保健福祉大会 (県民交流センター)
- 11月29日(日) 「あったか交流フェスタ2015」(ハートピアかごしま)
- 1月28日(木)・29日(金) 第23回九州ブロック身体障害者相談員研修会鹿児島大会 (サンロイヤルホテル)